

# 日本保育協会保育科学研究所 第13回学術集会（オンライン）開催案内

テーマ：保育所等における子育て支援について

- 趣 旨** 今回の学術集会は、保育科学研究所の令和6年度総合テーマ「保育所等における子育て支援について」の研究の発表を中心に、保育所保育指針等の改定に向けた講演や子育て支援に関する講演を通して、保育者の専門性向上とこれからの保育実践や政策などについて考えていきます。
- 対 象** 保育所等の役職員、大学等の教員・研究者、保育・教育行政担当者等  
※施設ごとにお申込みいただきます。（各施設代表者1名のご登録で、複数台のパソコン等での視聴が可能です。）
- 募集人員** 500人（先着順）
- 期 日** 令和7年9月6日（土） 10時～17時（9時30分開場）  
※当日は生配信。後日再配信を予定しております。
- 主 催** 社会福祉法人 日本保育協会 保育科学研究所  
（日本保育協会は日本学術会議協力学術研究団体、日本学術会議教育関連学会連絡協議会加盟団体です）
- 協 賛** 有限会社 日保協
- 参加費** 日本保育協会会員 4,000円／非会員 6,000円  
※申込み後、当協会より振込先、方法をメールでご案内いたします。振込期日までにお振込みいただきますよう、お願いいたします。（振込先は当協会のゆうちょ銀行の口座になります。）  
※参加費振込み後のキャンセルについては、ご返金できませんので、ご注意ください。

# ▲ ● ▼ 第 13 回学術集会プログラム ▼ ● ▲

9 時 30 分	開 場
10 時～ 10 時 15 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会の挨拶 五十嵐 隆（保育科学研究所長・国立成育医療研究センター理事長）</li> <li>・日程のご案内（事務局）</li> </ul>
10 時 15 分～ 10 時 45 分	<p>「保育実践研究の取り組み方（保育現場から研究の良さを伝える）」</p> <p>日吉 輝幸（平和こども園園長） ト部 友香里（花園第二こども園保育士）</p>
休 憩（10分）	
10 時 55 分～ 12 時 25 分	<p>研究発表及び質疑①（令和 6 年度研究 4 題）</p> <p>.....</p> <p>①「保育園の地域に対する子育て支援に関する研究－専門職に着目して－」 松田 典子（文教大学准教授）</p> <p>.....</p> <p>②「専門職倫理にもとづく子育て支援に関する研究」 亀崎 美沙子（日本社会事業大学准教授）</p> <p>.....</p> <p>③「保育施設における保健計画の作成状況およびその効果に関する研究」 菅原 民枝（国立感染症研究所主任研究官）</p> <p>.....</p> <p>④「地域子育て支援拠点事業の利用者の社会的居場所感の変容に関する研究」 岡村 季光（奈良学園大学教授）</p> <p>.....</p> <p>&lt;座長：小林 芳文（保育科学研究所運営委員・横浜国立大学名誉教授・和光大学名誉教授）&gt;</p>
昼休憩（60分）	
13 時 25 分～ 14 時 35 分	<p>研究発表及び質疑②（令和 6 年度研究 3 題）</p> <p>.....</p> <p>⑤「保育所の強みを活かした子育て支援におけるムーブメント教育の実践研究－特別なニーズのある子どもに焦点をあてて－」 大橋 さつき（和光大学教授）</p> <p>.....</p> <p>⑥「食を通した子育て支援に関する研究～地域資源との連携に注目して～」 會退 友美（東京家政学院大学准教授）</p> <p>.....</p> <p>⑦「こども誰でも通園制度（仮称）の実施に向けた課題に関する研究」 森 俊之（仁愛大学教授）</p> <p>.....</p> <p>&lt;座長：高橋 紘（保育科学研究所運営委員・至誠保育福祉研究所研究員）&gt;</p>
休 憩（15分）	

14時50分～ 15時50分	<p>講演1「保育の専門性を高めていくために(仮)」</p> <p>内容 こども誰でも通園制度の実施や今後の保育所保育指針の改定等を踏まえて、0歳児から施設において教育・保育を行うことの意義や未就園児のこどもの保育の必要性などについて、エビデンスをもとに、子どもの保育を中心にお話しいただきます。</p> <p style="text-align: right;">こども家庭庁成育局成育基盤企画課(依頼中)</p>
休 憩 (10分)	
16時00分～ 17時00分	<p>講演2「保護者の子育てを支えていくために—子育ての共同体として—(仮)」</p> <p>内容 保護者からの一方的な要求やクレーム等の対立構造ではなく、保育者が保護者の子育てを支えていくために求められることや、子育ての共同体としてお互いに認めあえることなどについて、こども誰でも通園制度の実施や保育所保育指針等の改定のことなども併せてお話しいただきます。</p> <p style="text-align: right;">中谷 奈津子 (神戸大学国際人間科学部教授)</p>
17時00分	<p>・閉会の挨拶</p> <p style="text-align: right;">吉田 学 (日本保育協会理事長)</p>

※「研究発表及び質疑」については研究代表者名を掲載しています。(発表者が異なる場合があります。)

### 配信方法

- インターネットを経由するオンラインでの開催です。
- 配信はZoomウェビナーを使用いたします。今回は再配信を予定しております。
- インターネット環境とパソコン等があればご受講できますが、お申込み前に動作確認をお願いいたします。

### [動作確認事項]

インターネット環境は整っているか／パソコン等の端末でGoogle各種サイトの表示が正常にできるか／Zoomがご利用いただけるかをご確認ください。

### 申込手続

- ①申込フォーム (<https://forms.gle/oq9W8S4qsj9V8kqTA>) からお申込みください。
- ②申込み後、登録したメールアドレスあてに参加費の振込方法をご案内いたします。振込期日までにお振込みください。
- ③開催日前日までに、本研修大会専用サイトURLと資料のご案内を、登録したメールアドレスあてにお送りいたします。
- ④開催日当日(9月6日(土))は③で届いたURLからご視聴いただきます。
- ⑤再配信については別途ご案内いたします。(再配信期間：9月29日(月)～10月20日(月)の予定)

### 申込締切

定員に達した場合、当協会ホームページ（<http://www.nippo.or.jp/laboratory/>）でお知らせします。

### その他（注意事項）

- 画面の録画・音声の録音・資料の転載は厳禁です。
- 本研修大会申込みに関する個人情報につきましては、日本保育協会が定める「個人情報保護規程」及び「個人情報保護実施要領」に基づき、本事業を遂行する目的の範囲内で利用させていただきます。詳細は、当協会ホームページの「プライバシーポリシー」をご参照ください。（<https://www.nippo.or.jp/privacy/>）

## 研究発表、講演に対する事前質問の受付について

進行上の都合により、事前に質問を受付けることといたしました。

詳細は、申込み後の参加費の振込案内メールにおいてご案内いたします。

なお、令和6年度研究については、当協会ホームページに全文が掲載されております。

（令和6年度以前の研究も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。）

「保育科学研究」第14巻：<https://www.nippo.or.jp/laboratory/bulletin.html>

※第14巻は7月中旬ごろホームページ掲載予定

### 問合せ先

社会福祉法人日本保育協会 企画情報部

電 話：03-3222-2114      メール：n-sato@nippo.or.jp

受付時間：（平日）9：00～12：00 / 13：00～17：30

第13回学術集会のお申込みは、こちらから

<https://forms.gle/oq9W8S4qsj9V8kqTA>



※当協会ホームページにもご案内を掲載しております。

日本保育協会保育科学研究所・学術集会

<https://www.nippo.or.jp/laboratory/shukai000.html>

皆様のご参加をお待ちしております !!